（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達支援の家つなぐ			
○保護者評価実施期間	令和8年3月13日	～	令和8年3月23日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	7
○従業者評価実施期間	令和8年3月13日	～	令和8年3月23日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのコミュニケーションがうまくいっている。	モニタリングを行う前から保護者に園での様子を伝え、家庭での児の様子を連絡帳やLINEでの写真等で伝え、モニタリングのやり取りがスムースに行われるように工夫している。	保護者からも要望が多い保護者同士の懇話会等を計画したいが、保護者間の温度差や実施日時の調整、内容の検討など課題が多い。
2	利用児が楽しく通園している。	物事を押し付けるのではなく、できることを伸ばしながらスモールステップで課題を克服していけるように個々に合わせて支援内容や接し方を工夫している。	重度の児に保育者の手が取られると他児への支援が手薄になるため、グループ化による支援も検討したい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内が狭く、園児が多いときには混雑する。	施設のスペースの有効利用ができていない。	園児が多いときはプログラムを変更したり、園庭を利用するなどの工夫をしながら事故を未然に防ぐ。 集団療育において、園内と庭園に分かれて療育するなど工夫が必要。
2			
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子ども発達支援の家つなぐ

公表日　令和８年　３月　25日

利用児童数 １０名　　回収数 ７名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7				整理整頓がされており、広い空間で子どもたちが活動しやすいように配慮されている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1			先生方に負担がかかっているのではと心配しています。	利用者数に応じてパート職員のシフトを見直していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7				目標に合わせて支援活動に取り組んでいる。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	1	3		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7				定期的に子どもの支援内容について説明を受けています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1		2		施設外の講演会や情報の提供はしているが、園独自のペアトレも企画したい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1				半年ごとの支援計画の達成状況の面電磁にお話をさせていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1				送迎時等の機会に保護者の方とコミュニケーションをはかっていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2		2		参観や親子遠足などの機会に保護者同士が交流できる機会を設けていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6			1	LINEで子どもの様子、また病気、感染症が流行していることを発信してくださっています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	2		1		HPにアップしていることをもっと保護者の方に周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		2		HPにアップしていることをもっと保護者の方に周知していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	6	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	7				先生方からできたことなど教えていただき、子供の成長を感じています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				ニコニコしながら登園しています。お友達に手を振ることもでてきました。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	子ども発達支援の家つなぐ

公表日　令和８年　3月　25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	スペースを有効的に活用する工夫を十分にしていると思う。	活動によっては狭く感じる走り回る子が多く時々衝突する。１０名いる時の運動遊びでは狭いと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	職員の急な退職や体調不良による欠勤などにシフト変更などで調整している。	子どもの重度化に伴い、基準人員は満たしていても人手が足りないと感じる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	特性に合わせて情報の伝達や配慮は都度行っている	バリアフリーにはなっていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日消毒をしており、清潔感は保たれている。 活動しやすい空間づくりや環境づくりを徹底している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	5			児が不安定になったときに落ち着ける部屋が一部屋しかないので複数の児が使えるように工夫したい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	職員会議などで全員で話し合う機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議の時間に行われている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		社協などが開催する研修情報を社員に提供し受講を希望する講習会への参加費用等を負担している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	5		HPにアップしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員会議において職員が発表する児の情報や気づきを共有し反映させている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			新入社員でもすぐに記録できるようなフォーマットを作成する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			児発管が立案しているのでチームで協力する体制を整える。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		時間を確保できない場合もあるので、ホワイトボードに支援内容や担当などを記入し、出勤時に各自確認できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5		午睡時に支援の振り返りや気づいた点を話し合い、次の支援に生かせるようにしている。	午睡の時間を使って都度話し合いを行うが、業務に追われて長時間の確保が困難。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		連絡帳や電話などで様子を伝えあい、情報共有を行ったり見学も行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		引継ぎシートに記入し、小学校や支援学校に見学に来ていただき情報共有と相互理解を図っている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	4	1	おおぞらのOT療育を見学させていただいたり、療育のわからない点をOTの先生等にアドバイスをいただく機会を設けている。	施設支援事業から見学に来てもらったり、おおぞらのOT療育の見学を行い、助言をいただきながら療育を行っている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		園長同士の交流はあるが、保育士や子ども同士の交流の場を設ける機会がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		各種団体の研修や講演会などの情報をホームページなどで発信していきたい。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	参観日なや親子遠足などの行事の際に交流を図る場を設けている。	保護者が就労されていることもあり、保護者会などを設けて交流することが難しい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月発行の園だよりやグループLINEなどにより発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		卒園式など近隣に声掛けを行っているが参加者がいない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアル等をホームページに掲載し、訓練の様子をLINEなどで発信している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		毎月各種の避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			これまでアレルギーのある子どもはいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5			安全計画はホームページに掲載しているが、保護者への周知を徹底したい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			